



入試が終わり、やっと春らしくなってきたこの頃です。かつてのこの時期、新中1が結構入ってきましたが、最近はもっと後からになってきました。少子化、そしてそれに伴う競争心の弛緩も原因に考えられますが、何よりもまず「部活が決まってスケジュールが落ち着いてから」という理由が大きいと思います。これは10年以上前に池袋で行ったミニ経営研修会でも講師の方(大阪の経営コンサルタント)も言われていました。その講師の先生は、2月、3月に生徒を募集するのは塾側の都合、生徒側の都合は違うとも言われていました。確かにその通りかも知れません。

東日本ブロック 広報局長 中村基和

## NPO 塾全協 西日本ブロック主催 冬のセミナー

### テーマ：学習塾のための生成 AI 活用法

開催日：2026年2月22日(日) 15:00~17:00

場所：アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 902 号室

講師：有働尚紀先生 (J教育セミナー)

#### 1. 現在の AI 利用の現状

第1部では、姫路「J教育セミナー」塾長・有働尚紀氏より、条件に従って AI が生成したレポートの実例を提示いただき、現在の生成 AI が到達している水準を確認した。教育分野での活用としては、東進・進研ゼミにおける採点や質問対応の事例、さらに atama+ の具体的な運用方法について紹介があった。

#### 2. 学習塾における具体的な活用例

第2部では、「J教育セミナー」での実践例を中心に、以下の2点について説明いただいた。

##### (1) 単語データの分析・整理

兵庫県教育委員会作成の「はば単」と教科書掲載語彙との差分抽出の方法、さらに Oxford 3000・5000 を AI に読み込ませ、語彙の重要度を分析する手法が紹介された。



## (2) 入試問題を基にした学力テスト作成

兵庫県入試問題を AI に読み込ませ、ワード数や設問形式を指定して類題を生成する方法について説明があった。その際、作成・点検に有効なツールとして **Grammarly**、**DeepL**、**Quillbot**、などの活用方法も示された。

第 2 部終了後には質疑応答の時間が設けられ、参加者から以下のような実践例が共有された。

- 社会の一問一答問題の作成
- 英単語テストの自動生成
- 計算問題のトレーニング教材作成
- 広告の作成
- 生成 AI を実際に授業で活用した事例紹介

実物資料を提示いただきながら、具体的な利用方法を伺うことができた。

## 3. これからの人と AI の関係

第 3 部では、今後の教育現場における AI との向き合い方について議論が行われた。

AI 活用に対する懸念としては、

- 人が考えなくなる可能性
- 講師の役割が奪われるのではないかという不安
- 生徒が学習よりも娯楽目的でデジタル機器を使用するリスクなどが挙げられた。

また、生成 AI の弱点として、

- 使用者に迎合しやすい
- あらゆる問いに答えようとするといった特性も指摘された。

そのうえで、

「人にしかできない領域（新出単元の説明、動機づけ、対人での非認知能力育成）に注力し、AI に任せられる業務は任せる」という役割分担の重要性が示された。

特に子どもの AI 利用については慎重な姿勢が必要であり、

- 端末上での思考の難しさ
- ペーパーでの学習の必要性
- 協働学習の価値が強調された。

## 4. 総括

第 3 部の議論では、参加者からも「子ども自身による AI 利用」について慎重な意見が多く寄せられた。テレビゲームやスマートフォン使用と学力の関係を示すデータを踏まえると、AI 利用においても適切な手立てが必要である。デジタル化を先行して進めたフィンランドが、学力低下を受けて教科書・ノート中心の学習へ回帰しつつあるという。一方で、



教える側にとって生成 AI は「優秀な事務員」として活用できる存在であり、講師自身の専門性を高めるためにも、適切な利用方法を学ぶ必要がある。便利なテクノロジーを完全に手放すことは難しい。だからこそ、「いかに上手に新しいテクノロジーを活用し、子どもたちのより良い未来につなげるか」を考え続けることが求められる。生成 AI が当たり前となる時代において、教育現場として最適な活用方法を模索していくことが、今後の重要な課題である。

## NPO 塾全協 千葉地区 ランチミーティング

開催日：2026年3月17日(火) 11:30~13:30

場所：久利舟(千葉県柏市)

参加者:9名

レポーター：中村基和

まずは千葉進学相談会の打ち合わせ。9月6日(日)に決定。参加校に関する話が色々話し合われました、まだ結論は出ていません。

次は担当の稲葉先生から、東京の進学相談会関係のこと。今年度は新宿 NS ビルが工事で使えないため、9月6日(日)に池袋のサンシャインで開催することに決定。私が、「例年は9月中旬頃で、この時期は二期制の中学校は前期末試験なので来られないが、この日なら来られる」と発言したところ、メンバーの中から最近では三期制から二期制に変わる中学校がだんだん出てきている都の声がありました。

その後昼食を食べながら情報交換やら世間話やら…。健康の話も良く出て来てお互い「年だな」と感じました。

会場は私の自宅(東京都中野区)から1時間40分くらいかかるところで、行き帰りがちょっと大変なのですが、普段中々お会いすることがない先生方にお会いでき、有意義な時間を過ごせました。そのうちまた参加させていただきたいと思います。



編集 NPO 塾全協 東日本ブロック 広報局長 中村基和

〒164-0013 東京都中野区弥生町5-5-11

むさし野ゼミナール 内

TEL 03-3381-6775

FAX 03-5385-4833